

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域との付き合い コロナ感染に伴い、地域の祭りや小学校との交流などできなかった。また、地域の参加(どんどや、清掃活動)を可能な範囲で行っていた。	コロナ感染状況を見ながら、地域の一員とし活動に参加し、地域貢献に繋げ、認知症について知って頂きたい。また、地域の方々が、ステラの風に気軽に立ち寄れる場所にする。	地域の行事等による交流は行うことが困難な状況(コロナ渦)にあるが、外出ができる時には、地域の一員とし回覧板を一緒に持って行ったり、地域清掃にも参加をする。また、毎月、回覧板にステラ通信を一緒に回してもらおう。また、カフェを開催し、ステラの風と認知症について知ってもらおう機会をつくる。	12ヶ月
2	12	就業環境整備 個々の強みや得意分野に応じて、担当を振り分け、責任とやりがいをもって仕事ができるように努め、職員の意見を反映できるようにしているが、数名の離職者が出てしまった。	次年度は、離職者ゼロを目指し、職員の働きやすい環境を整えたい。また、個々の強みや、得意分野に応じて、仕事ができる環境を作る。	職員全員と、半年に一回面談を行い、個々の意見を傾聴する場を設け、反映していく。また、半年ごとの面談以外に、意見箱の活用をし、離職防止に努めていく。	12ヶ月
3	40	食事を楽しむことができる支援 10月より食事が手作りから森永食研(湯煎対応の食事へ変更)へなり、毎月、給食委員会を通し、入居者様の意見(食べにくい食材や、美味しかった料理など)を反映し、次月より変更してもらっている、。	利用者様が楽しみを持てる行事食、希望食の提供ができる。	毎月、献立会議を開催し、食べたい食材や、料理、季節の食材や料理を利用者様と一緒に検討する。また、職員も一緒に楽しめる場の環境作りや利用者様とのより良い関係作りの機会にする。また、給食委員会では、希望食など、意見を反映し、希望に沿って準備をしてもらう。(誕生日ケーキなど)	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。